

在校生送辞

厳しい冬の寒さも次第に和らぎ、暖かな春の訪れを感じる事の出来る季節となりました。本日、晴れてこの木更津総合高等学校の卒業式を迎えられた第十九期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。

卒業式を迎えられた今日、先輩方の脳裏にはこれまでの学校行事や親しいご友人と過ごした何気ない日々。様々な思い出が走馬灯のように蘇っているかとおもいます。私たち在校生の様々な思い出の中にはいつも先輩方の姿がありました。先輩方と一緒に過ごした思い出の中で1番印象に残っているのは本校最大行事である真心祭です。

体育の部においては、各色一致団結し合い各競技での力強いご活躍に感動したことを今でも覚えています。例年通りの体育の部を開催することができたことで、先輩方の盛り上がりもあり、各色仲間のために応援し一生懸命取り組む姿を見ることが出来ました。

文化の部においては、各クラスでの模擬店、クラス企画とどれにおいても活気の溢れるものばかりでしたが、先輩方の模擬店はひときわ賑わっており、私たちを楽しませてくれました。

そして、先輩方と過ごした部活動の中にも学びを得ることもありました。目標に向かって一生懸命に活動に取り組む姿勢から、厳しい状況に直面しても達成した後の喜びがあること、仲間を信頼し協力し合い最後まで諦めず挑み続ける力、切磋琢磨し合い上へ上へと登り進み自分を高めることを学ぶことが出来ました。

私たち在校生にとって先輩方はこの木更津総合高校に大きな存在であり、尊敬できる存在であります。私たち在校生は皆様から多くのことを学ばせていただきました。

わたしからこの言葉を送らせていただきます。

「経験は人生成功への第一歩」

これから社会へと踏み出していく先輩方は、この先様々な経験をするでしょう。辛い経験、嬉しい経験、新たな仲間との出会いがあるとおもいます。高い壁が立ちほだかる事もあるとおもいますが、先輩方にはこの木更津総合高等学校での出会い、経験を生かしどんなに高い壁でも乗り越えていけることを信じております。そして、これらの経験が人生を豊かにし人生を成功へと導くはずです。

最後に、私たちが後輩としてこの学びやで共に生活できたことへの感謝の意を表明すると共に、卒業生の皆様のご健康、これからのご活躍を心よりお祈り申し上げ、在校生代表の送辞とさせていただきます。

2024年3月1日 木更津総合高等学校 在校生代表 原 颯汰